

【同時資料提供先】

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政記者クラブ・山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

令和元年度「手づくり郷土賞」の募集を開始します

～磨いて 光った 郷土自慢 を応募してみませんか！～

国土交通省は本日より、令和元年度「手づくり郷土賞」の募集を開始します。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、今年度で34回目を迎える国土交通大臣表彰です。同賞は、地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

募集期間 令和元年 5月13日（月） ～ 令和元年 7月31日（水）

募集の概要 <詳細は、応募要領をご覧ください>

- 募集対象：地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりのある優れた地域活動を一体的に表彰する「手づくり郷土賞（一般部門）」と、これまでに受賞したもののうち一層の発展のあったものを表彰する「手づくり郷土賞（大賞部門）」の2部門にて実施
 - 応募団体：地域の社会資本を有効活用し、地域づくり等に取り組む活動団体が単体、又は社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村）との共同で応募
 - 応募方法：応募資料（応募用紙、参考資料）※を7月31日（水）までに中国地方整備局に提出（提出先は、応募要領「別添 手づくり郷土賞 中国地方整備局 応募資料提出先」を確認ください。）
 - 選定：応募資料をもとに、学識者等からなる「手づくり郷土賞」選定委員会による厳正な審査を経て選定。選定された成果は、応募団体に認定証を授与するとともに、好事例としてホームページなどを通じて広く全国に紹介する予定
 - 発表会：受賞団体決定後、東京都内において受賞団体によるプレゼンテーションなど活動の発表会（交流会）を開催予定。詳細については改めてお知らせします
- ※応募に必要な書類等の様式は、国土交通省ホームページから入手することができます。
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/what_furusato/what_furusato.html

【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局 TEL (082) 221-9231（代表）
（担当）企画部 広域計画課長 山田 明（内線3211）
課長補佐 佐々田 敬久（内線3212）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 岩下 恭久（内線2117）
企画部 環境調整官 坂本 泰正（内線3114）



令和元年度(第34回)

「手づくり



小樽雪あかりの路実行委員会(北海道小樽市)



JR大歩危駅活性化協議会(徳島県三好市)



伊勢河崎まちづくり衆(三重県伊勢市)

ふるさと郷土賞」募集

磨いて 光った 郷土自慢

ふるさと

募集期間

令和元年5月13日～7月31日



岩国往来まちづくり協議会(山口県岩国市)

※掲載写真は平成30年度受賞団体の一例です。

主催：国土交通省

「手づくり郷土賞」とは

日本の各地で、地域特有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として見直し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりの事例が数多く生まれてきています。

「手づくり郷土賞」は、このような地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、令和元年度で34回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

募集対象

一般部門

地域の魅力や個性を生み出している、社会資本*及びそれと関わりのある地域活動が一体となった成果
*原則として国土交通省が所管する社会資本で、地方公共団体が整備・管理するものも含まれます。

大賞部門

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した、社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果
※「手づくり郷土賞」を受賞した後、なお一層の活動の充実が行われるなど、継続的に魅力ある地域の実現に寄与し、他の地域のモデルとなり得るものを選定して表彰します。

応募方法

■応募団体（各部門共通）

地域の社会資本を有効活用し、地域づくり等に取り組む活動団体が単体で、または社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村）と共同で応募するものとします。

■応募資料

応募用紙及び参考資料とその電子データ

※応募要領及び応募用紙については、国土交通省ホームページよりダウンロードしてください。

(http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/what_furusato/what_furusato.html)

■応募方法

応募資料を、募集期間内にお近くの各地方整備局等に提出してください。

提出された応募資料は各地方整備局等にて取りまとめの後、国土交通本省に提出されます。「手づくり郷土賞」の対象とならないものがあつた場合は、各地方整備局等よりその旨通知いたします。

■発表会について

受賞団体決定後、東京都内において受賞団体によるプレゼンテーションなど活動の発表会（交流会）を予定しております。発表会では受賞団体のなかから各部門のグランプリを選出します。

令和元年5月13日

募集開始

令和元年7月31日

募集締切

令和元年9月～10月

選定委員会開催

令和元年11月～

選定結果発表・
発表会

令和元年12月～

認定証
授与式

問い合わせ先

○各地方整備局等（応募資料提出先）

北海道開発局 開発監理部 開発調整課

TEL：011-709-2311

札幌市北区北八条西2丁目

東北地方整備局 企画部 企画課

TEL：022-225-2171

仙台市青葉区本町3-3-1

関東地方整備局 企画部 広域計画課

TEL：048-600-1330

さいたま市中央区新都心2-1

北陸地方整備局 企画部 広域計画課

TEL：025-370-6687

新潟市中央区美咲町1-1-1

中部地方整備局 企画部 企画課

TEL：052-953-8127

名古屋市中区三の丸2-5-1

近畿地方整備局 企画部 企画課

TEL：06-6942-1141

大阪市中央区大手前1-5-44

中国地方整備局 企画部 広域計画課

TEL：082-511-6120

広島市中区上八丁堀6-30

四国地方整備局 企画部 広域計画課

TEL：087-811-8309

高松市サンポート3-33

九州地方整備局 企画部 企画課

TEL：092-471-6331

福岡市博多区博多駅東2-10-7

沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課

TEL：098-866-1908

那覇市おもろまち2-1-1

○事務局

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 TEL：03-5253-8111 東京都千代田区霞が関2-1-3

昨年度発表会の様子



国土交通省の手づくり郷土賞ホームページにて、過去の受賞事例等をご覧いただけます。

(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>)

手づくり郷土賞

で 検索

①社会資本の概要

1600年、初代岩国藩主吉川広家の家
族・家臣が、現在の島根県より約30kmの
岩国往来を本郷から5つの峠を越え、岩国に
移住しました。その後、御国廻りや岩国和紙
の運搬の道として栄えましたが、現在のよう
に道が整備されると、峠の多い岩国往来は次
第に使われなくなり、忘れ去られました。2
005年よりボランティアにより道を調査・
復元し、歩けるようになりました。



本郷代官所の門



五連の木造アーチの錦帯橋



岩国往来起点の今津御茶屋跡

萩藩や岩国藩は、江戸時代から「三白（米、
塩、和紙）政策の一つとして手すき和紙の生
産が奨励され、岩国往来沿いの山代地方（本
郷・美和など）、岩国地方で和紙の生産が盛
んに行われました。山代和紙、岩国和紙は品
質が良く、特に大阪方面に専売品として出荷
されました。和紙は藩の財政を支え、とりわ
け錦帯橋は岩国和紙を財源に創建されたと
言っても過言ではありません。

②取組の背景、取組概要と創意・工夫

地元ボランティアにより岩国往来の道、史
蹟、標識類等が整備され、歩けるようになり
ました。一里塚は2基存在していましたが、
新たに地元の石を使い2基を復元、駕籠立場
は3箇所存在していましたが、間伐材を使い
2箇所復元しました。また、標識を約170
箇所、地図案内板7箇所、案内板20箇所を
すべて手づくりで設置しています。岩国往来
沿いに春の菜の花、秋の彼岸花、紅葉を楽し
みながら、市民ハイキング、JRふれあいう

オーク、地元の小学生、中学生が歴史、文化、
自然にふれあいながら歩いています。また、
江戸時代、岩国藩は和紙作りが大変盛んでし
たが、現在は全く作られていませんでした。
そうした中、地元中学校の行事として岩国往
来を生徒と一緒に歩いたことがきっかけで、
地元や生徒の協力を得て、2010年に岩国
往来沿いに和紙の原料三桠を植樹しました。
3月には三桠の花が咲き、とても綺麗です。



間伐材で阿賀駕籠立場を復元



地元の石で一里塚を復元



和紙の原料三桠を植樹する中学生

③活動の成果や波及効果等

中学生を案内し、岩国往来を歩いたのがきっかけで、岩国往来沿いに生徒が和紙の原料三椏を植樹し、2015年より三椏を使って卒業証書を作り始めました。1年生は三椏の植樹と収穫、2年生は皮剥きと異物除去、3年生は紙すきで世界に1枚の卒業証書を作り、今年で4年目となりました。今後も卒業証書作りが継続され、江戸時代のように、和紙作りでまちが活性化し、紙すきの人材育成が出来ることを期待しています。



紙すきで自分の卒業証書を作る3年生

④前回受賞時からの活動の発展内容

紙すきでの卒業証書作りは、2015年より始まりましたが、生徒は勿論ですが、市民も関心を持ち、紙すきに参加する人が増えました。また、岩国往来を歩くイベントに市民や学生が多数参加するようになりました。

喜びの声



<受賞者>

岩国往来まちづくり協議会
会長 藤森勝彦

<コメント>

一里塚の調査がきっかけで岩国往来に出会い、各自治会やアメリカ人ボランティアの協力により手づくりで整備・復元しました。特に中学校や地元との協働で、紙すきによる卒業証書作りを今後とも継続したいです。

<活動内容>

- ・道の整備、イベントの実施・案内
- ・三椏を原料とした紙すきで卒業証書作り

<活動の経緯>

平成18年 年岩国往来まちづくり協議会設立
平成24年 手づくり郷土賞（一般部門）受賞
平成27年 卒業証書作り開始

◆所在地

山口県岩国市 本郷、美和、岩国
(岩国市本郷と今津を結ぶ約30km)

◆活動主体及び連絡先

岩国往来まちづくり協議会・岩国市
(電話0827-43-0220 藤森勝彦)

◆対象となる社会資本

岩国往来(岩国市道錦見43号線他)
※管理者 岩国往来まちづくり協議会・岩国市



子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり ～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～

①社会資本の概要

斐伊川水系斐伊川は、船通山（標高：1,143m）に源を発し、宍道湖～大橋川～中海～境水道を経て日本海に注ぐ、幹川流路延長153kmの一級河川です。斐伊川下流部にある宍道湖・中海は全国でも珍しい連結汽水湖を形成しており、冬場には多くの水鳥が飛来する日本有数の飛来地です。平成17年には国

際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録され、平成29年には日本ジオパークにも認定されています。また、近年はコウノトリの営巣が2年連続確認され、斐伊川全域において大型水鳥の飛来地として注目を集めており、斐伊川流域において豊かな自然環境が着目されています。



天井川で有名な斐伊川下流



河口付近で越冬するコハクチョウ

②取組の背景、取組概要と創意・工夫

斐伊川流域は豊かで貴重な自然が今なお残されている環境にありますが、近年の子ども達は自然にふれる機会が減少しており、環境に対する興味や関心の低下が懸念されています。こうした中、ふるさと学習、環境学習の一環として、子ども達が河川の上流から河口までの流域全体で川の水質等の環境調査を実施することにより、自然体験不足の子ども達に生まれ育った川での体験を通じて、ふる

さとの自然を理解し環境に対する興味・関心を抱かせ、河川環境保全活動のきっかけをすることを目的としています。また、体験した内容をHPで環境マップとして蓄積・公開することや、子ども達による成果発表会を行なうことで、流域住民の関心を向上させ、流域全体で川の環境保全について課題を共有化し、今後の地域づくりに活かしています。



河川調査



成果発表会



環境マップ報告書

特定非営利活動法人 しまね体験活動支援センター

③活動の成果や波及効果等

近年、学校教育者の多忙な状況下において、河川が地域の環境に果たす役割を子供達に伝えることは非常に重要です。このため、学校での河川環境調査を指導する教員を対象とした指導者研修会を開催することによって、自らの体験も少ない教員の河川への関心を高めるとともに、指導力を向上させ質の高い河川環境調査が実施できています。また、河川調査を通じて学校と地域の協力関係が構築できており、これまで延べ14,271人の児童生徒が参加しています。

体験不足の子ども達が、ふるさとの川での河川調査体験を行うことで、川の生きものに対する関心が高まり、ふるさとを愛する心や河川環境保全に対する意識の向上が図られています。また、成果発表会を開催することで、子ども達の気づきや他校の取り組みを知り、河川調査や環境保全活動の質を高めるとともに、今後の参加校の活動に役立てています。

さらに、報告書やポスターを流域の学校・図書館・コミュニティセンター・公民館等へ配布することや、島根県のHPで調査結果を公表することで流域全体に河川環境の情報を発信することができています。その結果、上下流の一体感が生まれ、流域全体で川への関心が高まっています。

喜びの声



<受賞者>

特定非営利活動法人
しまね体験活動支援センター

理事長 青木 充之

<コメント>

17年に渡って小・中・高校生と共に河川環境調査に励んできた取り組みが認められ、このような素晴らしい榮譽を受賞でき、今後の活動に大いに励みとなります。

<活動内容>

- ・河川調査指導者研修会開催（5月）
- ・春・夏・秋の調査（水質・水生生物）
（6～10月）
- ・河川環境調査成果発表会の開催（11月）
- ・学校・地域で調査の成果を報告（12月）
- ・県HPの流域環境マップ（Web-GIS地図）の作成と公開（2月）
- ・流域学校・図書館・公民館等へ報告書等の配布（2月）

<活動の経緯>

- 平成14年 島根県中山間地域研究センター
リニューアルオープン記念事業第
1号として、活動スタート
- 平成19年 しまね体験活動支援センター
設立

◆所在地

島根県出雲市佐田町八幡原109番地

◆活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 しまね体験活動支援センター
(090-7132-9981)

◆対象となる社会資本

斐伊川水系斐伊川・神戸川

※管理者：国土交通省 中国地方整備局
出雲河川事務所



宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり ～UNOICHI 海が見える港のマルシェ～

①社会資本の概要

岡山県南央、児島半島の基部に位置する宇野港は、周囲を山と島に囲まれた天然の良港で、古くから本州と四国、瀬戸内海の島々を結ぶ“海の玄関口”として発展してきました。

昭和63年の瀬戸大橋開通により、宇高連絡船の廃止など、海上交通体系の再編を余儀なくされましたが、平成18年に大型客船バースが供用



瀬戸内海の玄関口「宇野港」

されて以降は、観光・人流港としての役割を担っています。平成20年5月には宇野地区一帯が「みなとオアシス」の登録をうけ、住民参加型のみなとまちづくりにも積極的に取り組んでいます。

近年はクルーズ客船の誘致にも力を入れており、客船入港の際は乗客、乗員、一般市民を対象としたおもてなしイベントも開催されています。



クルーズ船おもてなしイベント

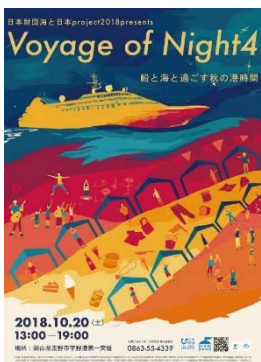
②取組の背景、取組概要と創意・工夫

UNOICHI実行委員会は地元の高校生を中心とした団体で、若い感性、地域活性化への意欲を形にして、宇野港や瀬戸内海が持つ魅力を世界に発信し、観光振興や移住促進を目標に活動しています。

主催するマルシェイベントでは、玉野市だけでなく、岡山県内や瀬戸内の島々にある個性溢れるお店に出店を依頼し、港ならではの繋がり、海を眺めながらゆったりと過ごして

いただく空間を提供しています。高校生、大学生は“海をもっと身近に感じてもらいたい！”を合言葉にそれぞれの専門分野の枠を超えて企画立案を大人と一緒にしています。

イベントでは、瀬戸内ならではの美味しい食べ物や飲み物、スイーツ、本やグッズが集まり、ものづくり体験ワークショップや、音楽の生演奏なども楽しめます。



イベントポスター



地元の高校生も毎年参加

特定非営利活動法人 UNOICHI実行委員会

③活動の成果や波及効果等

活動を通して、多くの方々に宇野港へ関心を持っていただき、来場者の増加等、港を中心とした地域の賑わい創出につなげることができています。

平成29年には、港の集客の向上に大いに貢献している点が評価され、日本港湾協会企画賞を受賞、平成30年には大学生を中心にUNOICHI TOKYOチームが発足するなど、広がりを見せています。

また、プラスチックごみの削減等による海洋環境保全を目的とした「SOS(Save Our Sea)プロジェクト」を開始するなど、今後も地域資源と若者をつなぐ様々な活動を続けていきます。



港湾緑地にてマルシェイベントを開催



日本港湾協会企画賞受賞
(玉野市長報告会)



UNOICHIエコボトル
(SOSプロジェクト)

喜びの声



<受賞者>

特定非営利活動法人UNOICHI実行委員会
理事長 小倉 理史

<コメント>

『手づくり郷土賞』と誇れる賞をいただいたことに感謝の想いでいっぱいです。そして、全国の熱意ある方を前に高校生が自分の行ってきたことを交え、語れる機会をいただけたことにも感謝の想いでいっぱいです。

今後、更に若い世代が活躍できる環境、場所を作り、きちんと収益も作り、事業展開を行うことが地域活性であり、地域資源でもあると信じて。

<活動内容>

- ・UNOICHI～海が見える港のマルシェ～
- ・SUMMER STYLE(クルーズイベント)
- ・SOS(Save Our Sea)プロジェクト など

<活動の経緯>

- 平成25年 団体設立
以降マルシェイベントを中心に
毎年4、5回のイベントを開催
- 平成29年 日本港湾協会企画賞受賞
港湾協力団体に指定
- 平成30年 TOKYOチーム発足

◆所在地

岡山県玉野市

◆活動主体及び連絡先

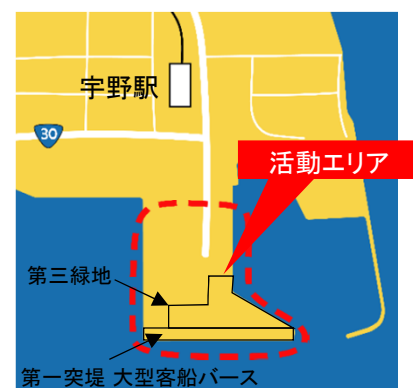
特定非営利活動法人 UNOICHI実行委員会

(☎0863-55-4339 <http://unoichi-tamano.com/>)

◆対象となる社会資本

宇野港宇野地区 第一突堤 大型客船バース および 第三緑地

※管理者:岡山県



令和元年度「手づくり郷土賞」応募要領

国土交通省

1. 「手づくり郷土賞」とは

日本の各地で、地域特有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として見直し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりの事例が数多く生まれてきています。

「手づくり郷土賞」は、このような地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、令和元年度で34回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

2. 応募について

1) 応募者の資格

地域の社会資本*を有効活用し、地域づくり等に取り組む活動団体が単体で、または社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村）と共同で応募するものとします。なお、社会資本を管理する地方公共団体については、複数での応募が可能です。

* 原則として国土交通省が所管する社会資本で、地方公共団体等が整備・管理するものも含まれます。

2) 表彰部門

手づくり郷土賞は、以下の2部門について、募集を行います。

①手づくり郷土賞（一般部門）

地域の魅力や個性を生み出している、社会資本およびそれと関わりのある地域活動が一体となった成果（以下、単に「成果」という）を対象とします。

②手づくり郷土賞（大賞部門）

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した、社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果を対象とします。

さらに、受賞団体の中から、2. 6) 記載の発表会にて各部門のグランプリを選出します。

3) 募集期間

令和元年5月13日（月）～7月31日（水） ※消印有効

4) 応募方法（提出物・提出先）

応募用紙記載要領に記載のある応募資料（応募用紙及び参考資料）を、3) 募集期間内にお近くの各地方整備局等（「5. 問い合わせ先」参照）に提出してください。

応募用紙については、国土交通省ホームページ上に掲載してあります。ダウンロードして、ご活用ください。

URL : http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/what_furusato/what_furusato.html

5) 応募対象外となるもの

次の事項に該当する場合には、手づくり郷土賞の応募対象外となりますので、ご注意ください。

- ① 社会資本の整備、維持管理、利活用等と関わりが認められない活動
- ② 行政機関の主導のみで推進され、地域活動としての自立性が乏しい活動
- ③ 活動期間が概ね3年未満の活動（※活動期間は、組織の立ち上げや会議開催等ではなく、成果に直結する実質的な活動開始時点からカウント）
- ④ 地域社会、地域住民への貢献が認められない活動
- ⑤ 今回の応募内容で、全国規模で行われている同様趣旨の他の表彰を、過去に受けているもの（内容の発展が認められれば可）

6) 発表会

受賞団体決定後、東京都内において、受賞団体によるプレゼンテーションなど活動の発表会を下記のスケジュールで予定しております。発表会では受賞団体のなかから各部門のグランプリを選出します。会場までの交通費等は1団体につき2名様分までご用意する予定です。詳細につきましては、改めて受賞団体へお知らせいたします。

7) 今後のスケジュール（予定）

募集開始 (令和元年 5月13日)

募集締め切り (令和元年 7月31日)

※応募資料は、各地方整備局等および国土交通本省にて、応募要件のチェックを行います。

応募の対象とならないものがあつた場合、その旨を応募団体へ通知いたします。

選定委員会による選定 (令和元年 9月～10月)

選定結果の公表 (令和元年10月～11月)

発表会 (令和元年11月～12月)

認定証授与式 (令和元年12月～)

3. 選定について

1) 選定方法

一般部門及び大賞部門は、応募資料をもとに、学識者等からなる「手づくり郷土賞」選定委員会による厳正な審査をした上、選定します。各部門のグランプリは、発表会での活動当事者によるプレゼンテーション等を踏まえて選出します。

2) 選定対象

次の要件を満たすものが「手づくり郷土賞」として選定されます。

【手づくり郷土賞（一般部門）】

次の①及び②の要件を満たし、他の地域のモデルとなり得るものを選定して表彰します。

- ① 社会資本について、地域の自然的・社会的条件等を踏まえた創意・工夫のもと、整備（特に地域活動を誘発している整備）・維持管理・利活用等されていること。

（例えば、評価するイメージは以下のとおり。

- ・里の原風景を残し、環境学習・景観学習が出来るような整備がされている。
- ・点在する自然・歴史・文化空間をネットワーク化した、回遊ルートが形成されている。
- ・地域の歴史文化を継承する場として、街並みが保全・利活用されている。
- ・世代間の交流を促進するよう、使い勝手を考慮した工夫が凝らされている。
- ・社会資本自身が地域資源として定着し利活用されている。
- ・地域のシンボルとなる施設や歴史・文化・特産物などを核とした賑わい創出が地域活動により図られている。 など)

- ② 地域活動について、社会資本を有効活用し、地域の魅力の向上のための創意・工夫が行われており、公益性を有すること。

（例えば、評価するイメージは以下のとおり。

- ・コミュニティの育成、交流空間を創造している。
- ・郷土愛の醸成、環境や景観の次世代への継承を目指している。
- ・身近な社会基盤を見つめ直し、活かし、豊かな暮らしにつなげている。
- ・地域づくりの起爆剤になっている。住民と行政の連携を促している。
- ・計画的な事業実施のための資金獲得の工夫が行われ、住民が主体となって関係者を巻き込んだ活動となっている。 など)

【手づくり郷土賞（大賞部門）】

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した、社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果のうち、「手づくり郷土賞」を受賞した後、なお一層の活動の充実が行われるなど、継続的に魅力ある地域の実現に寄与し、他の地域のモデルとなり得るものを選定して表彰します。

（例えば、評価するイメージは以下のとおり。

- ・地域づくりの成功事例の継続的な展開・進展により、新たな好事例を生んでいる。
- ・地域資源の地道な継承活動や新たな試みの付加により、地域の魅力が観光資源として認められ定着している。
- ・整備をきっかけに生まれた住民の交流が、住民主体によるまちづくりの気運を高め、行政協働のまちづくりに発展している。
- ・地域づくり活動が新たな産業を創出するなど地域振興に寄与している。 など)

3) 選定のポイント

審査を行う上での選定のポイントは以下のとおりです。

- ① 社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成 等)
- ② 地域活動における創意・工夫、取組の独創性
(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組 等)
- ③ 地域づくりへの成果及び波及効果
(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果 等)
- ④ 今後の活動の継続性・発展性
(住民が長く活動が続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫 等)
- ⑤ 他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥ その他(上記以外の特に優れた内容)

上記に加え、大賞部門においては以下のポイントも重視します。

- ⑦ 社会資本の地域への定着状況
(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に利用している 等)
- ⑧ 活動の継続状況
(規模を広げながら着実に継続している 等)
- ⑨ 活動の発展状況
(新たな取組を創出している、他地域へ波及している 等)

4) 選定結果の公表等

選定結果の公表は、令和元年10月頃を予定しており、国土交通省及び各地方整備局等のホームページ等で公表します。なお、選定された成果に対しては、各地方整備局等を通じて認定証の授与を応募団体に対して行う予定です。

また、選定された成果は、好事例としてホームページなどを通じて広く全国に紹介する予定です。

4. その他応募にあたっての留意事項

○応募資料提出後、担当窓口等から内容について問い合わせを行う場合がございます。

○応募資料は原則返却いたしません。返却が必要な資料については、その旨明記下さい。

○添付する写真について

- ・写真は評価の上で非常に重要な判断材料となります。応募資料に写真を添付される場合には、写真貼付箇所に強調したい点のコメントを載せて下さい。その際、「手づくり郷土賞」の趣旨に鑑み、なるべく無人の写真ではなく社会資本の利活用状況や工夫が分かる写真を添付して下さい。
- ・写真の内容については、第三者の肖像権、プライバシー等を侵害することのないよう十分

ご注意ください。また、選定された場合は、受賞団体の公表時や、冊子、ホームページ等の受賞団体紹介等で使用する場合があります。事前にご了承願います。

5. 問い合わせ先（担当窓口）

（事務局）

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課事業調整第二係

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL : 03-5253-8111

（各地方整備局等）

北海道開発局 開発監理部 開発調整課

〒060-8511 札幌市北区北八条西 2 丁目 TEL : 011-709-2311

東北地方整備局 企画部 企画課 地方計画係

〒980-8602 仙台市青葉区本町 3-3-1 TEL : 022-225-2171

関東地方整備局 企画部 広域計画課 地方計画第二係

〒330-9724 さいたま市中央区新都心 2-1 TEL : 048-600-1330

北陸地方整備局 企画部 広域計画課 幹線道路調査係

〒950-8801 新潟市中央区美咲町 1-1-1 TEL : 025-370-6687

中部地方整備局 企画部 企画課 企画第二係

〒460-8514 名古屋市中区三の丸 2-5-1 TEL : 052-953-8127

近畿地方整備局 企画部 企画課 施策分析評価係

〒540-8586 大阪市中央区大手前 1-5-4 4 TEL : 06-6942-1141

中国地方整備局 企画部 広域計画課 企画第二係

〒730-8530 広島市中区上八丁堀 6-3-0 TEL : 082-511-6120

四国地方整備局 企画部 広域計画課 地方計画係

〒760-8554 高松市サンポート 3-3-3 TEL : 087-811-8309

九州地方整備局 企画部 企画課 事業調整係

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-1-0-7 TEL : 092-471-6331

沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課 事業調整係

〒900-0006 那覇市おもろまち 2-1-1 TEL : 098-866-1908

以上

別 添

手づくり郷土賞 中国地方整備局 応募資料提出先

応募資料提出先					
	事務所名	窓口	〒番号	住所	電話番号
本局	中国地方整備局企画部	広域計画課	〒730-8530	広島県広島市中区上八丁堀6-30	(082)511-6120(直通)
事務所	鳥取河川国道事務所	計画課	〒680-0803	鳥取県鳥取市田園町4-400	(0857)22-8435(代表)
	倉吉河川国道事務所	調査設計第二課	〒682-0018	鳥取県倉吉市福庭町1-18	(0858)26-6221(代表)
	日野河川河川事務所	調査設計課	〒689-3537	鳥取県米子市古豊千678	(0859)27-5484(代表)
	浜田河川国道事務所	調査設計課	〒697-0034	島根県浜田市相生町3973	(0855)22-3129(直通)
	出雲河川事務所	計画課	〒693-0023	島根県出雲市塩冶有原町5-1	(0853)20-1761(直通)
	松江国道事務所	計画課	〒690-0017	島根県松江市西津田2-6-28	(0852)26-2131(代表)
	岡山河川事務所	調査設計課	〒700-0914	岡山県岡山市北区鹿田町2-4-36	(086)223-5101(代表)
	高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所	工務課	〒710-1301	岡山県倉敷市真備町箭田1141-1	(086)697-1020(代表)
	岡山国道事務所	計画課	〒700-8539	岡山県岡山市北区富町2-19-12	(086)214-2220(代表)
	福山河川国道事務所	調査設計第二課	〒720-0031	広島県福山市三吉町4-4-13	(084)923-2620(代表)
	三次河川国道事務所	調査設計課	〒728-0011	広島県三次市十日市西6-2-1	(0824)63-4121(代表)
	太田河川河川事務所	調査設計第一課	〒730-0013	広島県広島市中区八丁堀3-20	(082)221-2436(代表)
	広島西部山系砂防事務所	調査課	〒730-0013	広島県広島市中区八丁堀3-20	(082)212-1010(代表)
	広島国道事務所	計画課	〒734-0022	広島県広島市南区東雲2-13-28	(082)281-4131(代表)
	山口河川国道事務所	計画課	〒747-8585	山口県防府市国衛1-10-20	(0835)22-1785(代表)
	苫田ダム管理所	管理係	〒708-0433	岡山県苫田郡鏡野町久田下原1592-4	(0868)52-2151(代表)
	土師ダム管理所	管理係	〒731-0301	広島県安芸高田市八千代町土師369-24	(0826)52-2455(代表)
	弥栄ダム管理所	管理係	〒739-0627	広島県大竹市小方町小方813-1	(0827)57-3135(代表)
	八田原ダム管理所	管理係	〒729-3301	広島県世羅郡世羅町大字小谷字苦谷山1100-1	(0847)24-0490(代表)
	温井ダム管理所	管理係	〒731-3501	広島県山県郡安芸太田町大字加計1956-2	(0826)22-1501(代表)
	中国技術事務所	防災・技術課	〒736-0082	広島県広島市安芸区船越南2-8-1	(082)822-2340(代表)
	岡山営繕事務所	技術課	〒700-0984	岡山県岡山市北区桑田町1-36	(086)223-2271(代表)
	境港湾・空港整備事務所	工務課	〒684-0034	鳥取県境港市昭和町9	(0859)42-3145(代表)
	宇野港湾事務所	総務課	〒706-0002	岡山県玉野市築港1-1-3	(0863)33-5006(代表)
	広島港湾・空港整備事務所	企画調整課	〒734-0011	広島県広島市南区宇品海岸3-10-28	(082)254-6411(代表)
	宇部港湾・空港整備事務所	企画調整課	〒745-0045	山口県周南市徳山港町8475-17	0834-31-0409(代表)
広島港湾空港技術調査事務所	調査課	〒734-0011	広島県広島市南区宇品海岸3-10-28 庁舎4階	(082)250-1901(代表)	

手づくり郷土賞

【中国地方管内県別受賞歴一覧表】

資料4

鳥取県		島根県		岡山県		広島県		山口県		
H30		出雲市 雲南市 奥出雲町 飯南町	子ども達が取り組む河川環境保全活動から始まる地域づくり～斐伊川・神戸川流域環境マップづくり～	玉野市	宇野港を舞台とした玉野の賑わいづくり～UNOICHI 海が見える港のマルシェ～			岩国市	蘇った歴史の道 岩国往来	
H29						三次市	住民自治で創る川西のまちづくり～1200人を支え、100人が働き、170人が関わり、30万人が訪れる郷～			
H28						広島市	身近な自然に気づき、川と始める 川から始まるまちづくり～川に近づき、川を利用、川で遊び、美しい川を創る～			
H27	琴浦町	鳴り石の浜を舞台にしたまちの活性化プロジェクト						下関市	協働による花と歴史と安らぎの郷づくり	
H26				岡山市	庭園都市おかやま 緑と水の道づくり					
H25		出雲市 江津市	甕った出雲大社の門前町～神門通り～ 石州赤瓦と歴史を活かしたまちづくり							
H24						竹原市	歴史と文化が薫る町並み (一般受賞：竹原市伝統的町並)			
H23						東広島市	酒蔵のあるまち並み	岩国市	蘇った歴史の道 岩国往来	
H22	鳥取市	鹿野祭りの似合う街づくり	松江市	宍道湖夕日スポット		尾道市	尾道みなとまちづくり			
H21	美祿市	水木しげるロード				広島市	可部駅西口広場の整備をきっかけにしたまちづくり			
H20						広島市	並木通り			
H19			津和野町	本町・祇園丁通石畳通り		尾道市	島ここ美術館 (一般受賞：せとだびエンナーレ)			
H18	鳥取市	鹿野祭りの似合う街づくり	大田市	石見銀山御料・大森の町並み		安芸高田市	土師タムススポーツランド	柳井市	白壁の町並み	
H17	倉吉市	土蔵造りの家並	津和野町	藩政時代の街並	岡山市	西川緑道公園	宮島紅葉谷川庭園砂防 (一般受賞：紅葉谷川庭園砂防)	宇部市	中央町三丁目地区まちなか再生事業	
					倉敷市	倉敷市の伝統的街並		山口市	地域通貨「フシノ」を活用した地域連携づくり	
								萩市	萩博物館	
								山口市	一の坂川ホテル護岸	
H16				岡山市	表町おかみさん会による中心市街地活性化の取り組み	東広島市	水と緑が出迎える街 東広島駅前地区	下関市	「海峡花通り」下関花いっぱい計画	
H15						広島市	横川駅前広場			
H14						三原市	すなみ海浜公園	萩市	市役所前中央分離帯整備	
H13			松江市	ウーキング・トレイル「ほにわロード」	倉敷市	川辺ふるさとピオトーブ	尾道市	瀬戸内しまなみ大学	萩市	見島ゆりや湖
H12			出雲市	海辺の交流舞台「キララ多岐」	津和野町	ふれあいこまち			美祿市	ピオトーブのある川
			奥出雲町	斐伊川わくわくプール						
			吉賀町	安蔵寺山麓ゴキの郷						
H11	米子市	弓ヶ浜公園みんなの遊具広場			岡山市	オレンジ東通り	広島市	天神川プロムナード	防府市	防府市地域交流センター「アスピラート」
H10			雲南市	清流と親しむやさしい水辺	笠岡市	小田県庁門せせらぎの道				
					岡山市	池の内大池湖畔公園	呉市	狩留賀海浜公園		
					倉敷市	アンデルセン広場				
					津江市	こんご通り				
H9	境港市	水木しげるロード	奥出雲町	せせらぎの里砂田川	高梁市	風の舞台「石の風ぐるま」	三原市	やはた川自然公園		
H8	白野町	黒坂カワコふれあい公園								
H7	米子市	米子水鳥公園	津和野町	鯉溜り						
	境港市	屋外彫刻ロード	出雲市	岩橋公園	新見市	夢すき公園	広島市	中央公園(史跡広島城跡二の丸周辺)	宇部市	真綿大橋
	白野町	カヌーの里	雲南市	かみくの桃源郷			三原市	宮浦公園		
H6	米子市	多目的広場(水鳥広場)	出雲市	市民コミュニティー広場	岡山市	臨海鉄道跡地整備	広島市	西部河岸緑地(吉島橋下流260m左岸)	山口市	山大通りと街かど広場
	八頭町	姫路公園(私都川)	出雲市	斐川ふるさと通り	総社市	文化筋公園	呉市	青山通り	柳井市	古市金屋線まちかど広場
									美祿市	カルストロード八重広谷線
									周南市	湯野・夜市川水辺環境整備
H5	倉吉市	緑の彫刻プロムナード	雲南市	ゆけむり大橋	総社市	カミガジプラザ(神が社)	庄原市	リストア・ステーション	下関市	しめだ川親水護岸
	倉吉市	せせらぎ親水広場					東広島市	プールハール	宇部市	シンボルロード駅通線
H4	智頭町	杉の木村公園	雲南市	せせらぎ工	美作市	作東バレンタインプラザ	尾道市	せとだびエンナーレ	山口市	光のタワー
	三朝町	恋谷橋	奥出雲町	神話と鉄学の道「可部屋大橋」					岩国市	吉香公園の大放射噴水
	江府町	スイングベルの塔							周南市	石光川親水公園
H3			大田市	仁摩サンドミュージアム	岡山市	桃太郎広場(水辺のももくん)	福山市	平家谷・花しょうぶ園	山陽小野田市	有帆ホテル川公園
H2	日南町	生山街路灯	出雲市	高瀬川	岡山市	旭川緑地	呉市	五月橋	下関市	深坂自然の森
			津和野町	殉教の道乙女峠	岡山市	吉備の中山遊歩道	尾道市	歴史のただよう坂道	周南市	緑と文化のプロムナード
					倉敷市	倉敷中央通り街灯	安芸高田市	いなだ橋遊漁園	周南市	花と緑のまちづくり
					倉敷市	倉敷西小学校生け垣				
H元	日野町	板井原川	松江市	松江塩見縄手	津江市	商家の町並	広島市	並木通り	萩市	しろ魚の道
			大田市	石見銀山御料・大森の町並み	高梁市	白谷川公園	東広島市	酒蔵のあるまち並み	長門市	菅谷川河川公園
S63	鳥取市	鳥取駅南モニュメント広場	松江市	浜乃木ふれあいモール	総社市	砂川公園	広島市	古川せせらぎ河川公園	柳井市	白壁の町並み
	鳥取市	旧袋川通り左岸線彫刻の道			鏡野町	鏡野万葉のみちシンボル広場	広島市	藤柳の道	下関市	堀具川
							呉市	蔵本通り	萩市	藍場川
S62	湯梨浜町	東郷湖	松江市	北松江の天道湖岸	岡山市	鳥城みち	福山市	春日池公園	防府市	西佐波緑地
					高梁市	ふれあい広場と美観地区	呉市	倉敷中央通り	光市	水鳥の道
							竹原市	あいふる316	山口市	一の坂川ホテル護岸
							廿日市市	紅葉谷川庭園砂防	光市	なぎさへの道
							安芸高田市	土師タムススポーツランド	周南市	東川緑地公園
S61	鳥取市	流しびの水辺	津和野町	藩政時代の街並	岡山市	相生橋	安芸高田市	土師タムススポーツランド	防府市	佐波川堂の川
	倉吉市	土蔵造りの家並			岡山市	西川緑道公園	広島市	横川橋		
					倉敷市	倉敷市の伝統的街並	竹原市	竹原市伝統的町並		
							福山市	堂々公園		
							大崎上島町	野賀海岸		

【凡例】

案件名 : 大賞受賞

案件名 : 大賞受賞の前提となった一般受賞